

NPO草津が不法投棄撲滅運動

一斉清掃 44名が参加

草津市を拠点とする建設関連事業者でつくる特定非営利活動法人「草津の安全・福祉・災害救援活動を推進する市内業者会」(略称「NPO法人草津市内業者会」・理事長「森川守樹」千商代表取締役)は先月25日、社会貢献の一環として不法投棄撲滅を目指し、草津市の新草津川側道における一斉清掃活動を行った。

市民から不法投棄につい



て多くの苦情が草津市に寄せられている現状を聞き、「我々が立ち上がらなくては」と活動を決定。機動力と協調性を活かした不法投棄撲滅運動の取り組みを毎年行っているもの。

当日は、揃いの作業ジャンパーを着用し参加者44名(43社)が集合した御倉山公園に、橋川渉草津市長も駆け付け、「災害時の救援活動や道路パトロール活動

など、日頃よりNPO草津は心強い存在。延520名にもなる市内道路の維持管理は大変であり、本日は道路清掃にご協力頂き非常にありがたい」と激励した。

不法投棄撲滅運動の清掃作業を行う会員ら

クリーン福祉部委員長の守野洋史副理事長が清掃作業について説明した後、会員らはゴミ袋とハサミを持ち作業に出発。作業ルートは、西矢倉大橋から子守橋までの新草津川側道。2班に分かれ道路上だけでなく、土手まで注意深く見回り、落ちていた空き缶やペットボトルなどを拾い集めた。集まった大量のごみは作業終了時には軽トラック2台分ほどにもなり、分別場所へ集めた後は手分けして焼却ごみ、空き缶類、その他のごみに分別する作業に汗を流した。

NPO法人草津市内業者会は草津市を拠点に建設業にかかわる業者が集まり平成20年6月に設立。市と連携して災害時の緊急出動等の活動、年1〜2回の市内道路清掃活動(不法投棄撲滅運動)、宿場まつりへの協賛や出店参加、市教育事業への寄付など幅広い支援活動を行っている。